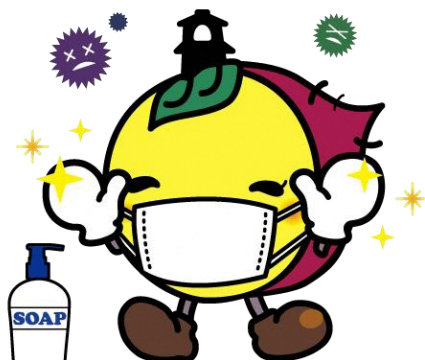


イーブン



2020. 12

号外

Contents

- 1 令和2年度 女性に対する暴力をなくす運動 ... ①
- 2 「性暴力を、なくそう」 ... ②
- 3 DVに関する相談窓口 ... ③
- 4 パープルリボンキャンペーンを実施しました ... ③
- 5 性の多様性について ... ④

令和2年度 女性に対する暴力をなくす運動

女性に対する暴力は、犯罪となるものをも含む重大な人権侵害であり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

そのため、国は毎年11月12日から、女性に対する暴力撤廃国際日である11月25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間として、地方公共団体や女性団体などと連携・協力し、社会の意識啓発など、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化しています。



「性暴力を、なくそう」

「令和2年度 女性に対する暴力をなくす運動」のテーマは「性暴力を、なくそう」です。

性暴力は、被害者の尊厳を著しく傷つける重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。また、被害者が勇気を出して相談しても、服装や行動をとがめられ、自分が悪いようなことを言われる「二次被害」も指摘されています。

相手の明確な同意がない性的な行為は性暴力にあたり、被害者の心身や、その後の日常生活に深刻な影響を与えます。

もし性暴力の被害を受けたら、一人で抱え込まず、最寄りのワンストップ支援センターに連絡してください。



令和2年度のポスター

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター 全国共通番号 #8891（はやくワンストップ）

ワンストップ支援センターの支援内容

- 電話相談や面談
- 「緊急避妊ピル」の処方や性感染症検査、証拠採取などの処置をする病院や警察への同行支援
- 精神科医や弁護士など専門家の紹介

このような被害に遭わないように、注意しましょう！

D V

配偶者等からの暴力（DV）について、一人で悩んでいませんか。（※）

性犯罪・性暴力

性的な行為を受けてイヤだったこと、つらいこと、不安なことを、一人で抱え込んで悩んでいませんか。

デートレイプドラッグ

飲み物に睡眠薬を入れられ、性暴力の被害にあう。そんな被害が増えています。

デートDV

DVなんて関係ない、興味ない、という人が、気付かないうちに被害者だったり、加害者だったり…

AV出演強要

モデルのスカウトを装って、性的な行為を強要されるケースがあります。

JKビジネス

おしゃべりするだけ！時給もいい！そんなバイト募集広告が実際には性的な行為を含むバイトだったりします。

（詳しくは、内閣府ホームページへ）

※ DV(配偶者等からの暴力)の形態

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 身体的暴力 | 平手で打つ、殴る、蹴る、髪を引っ張る、物を投げる など |
| 精神的暴力 | 大声で怒鳴る、無視する、付き合いを制限する、行動を監視する など |
| 性的暴力 | 性行為を強要する、避妊に協力しない など |
| 経済的暴力 | 生活費を渡さない、仕事を辞めさせる など |

***** DVに関する相談窓口 *****

川越市配偶者暴力相談支援センター(男女共同参画課)

TEL 049-224-5723 月～金曜日 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)

埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま

TEL 048-600-3800 月～土曜日 10:00～20:30 (祝日・第3木曜日・年末年始を除く)

埼玉県婦人相談センターDV相談担当

TEL 048-863-6060 月～土曜日 9:30～20:30

日曜日・祝日 9:30～17:00 (年末年始を除く)

DV相談プラス(内閣府が設置する相談窓口)

TEL 0120-279-889 (つながりやく) (24時間対応)

SNS相談(12時～22時対応)・メール相談(24時間対応)は、
ホームページ(<https://soudanplus.jp>)からアクセス

* 外国語相談にも対応

緊急の場合は、迷わず
110番(警察)へ!!

パープルリボンキャンペーンを実施しました

埼玉県では、「女性に対する暴力をなくす運動」にちなんで、毎年パープルリボンキャンペーンを実施しています。これは、大きなタペストリーのポケットに、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンを入れて、県内市町村をリレー方式でつなぐイベントです。

川越市では、11月14日(土)と15日(日)の2日間、ウェスタ川越1階で実施しました。多くの方のご協力をいただき、ありがとうございました。

また、この運動期間中、内閣府では、全国のタワーやランドマークなどを紫色にライトアップする「パープル・ライトアップ」を実施しました。

知っていますか? カラーリボン(アウェアネスリボン)

パープルリボンには、女性に対するあらゆる暴力をなくしていこうとのメッセージが込められています。1994年にアメリカで、女性に対する暴力の被害者たちによって生まれた草の根運動にはじまり、今では国際的な運動へと広がっています。

パープルリボンの他にも、カラーリボン(アウェアネスリボン)には、その色ごとにさまざまな社会問題への理解や支援のメッセージが込められています。



【カラーリボンの一例】

レッドリボン：エイズに対する理解と支援

オレンジリボン：児童虐待防止運動のマーク

ピンクリボン：乳がんの正しい知識と健診の早期受診を普及啓発する



性の多様性について

近年、「性の多様性」という言葉を耳にする機会が増えてきました。

これまで、性別は「男」と「女」のどちらかに分けられ、異性を好きになることが当たり前と考えられてきましたが、自分の性別についての認識（性自認）が身体の性（生物学的な性）と一致しない、好きになる性（性的指向）が同性であるなど、性のあり方は人それぞれに違います。

性別に違和感がある、性的指向が異性に限らないなどの性的少数者の方には、日常生活のさまざまな場面における困難があります。

【困 難 の 例】

学校	◆ 男女別のトイレに、入りづらさを感じる。 ◆ 制服等、男女別の服装に違和を感じる。 ◆ 「男らしさ」「女らしさ」などにより、いじめを受けることがある。
社会	◆ 職場などで差別的発言を受けることがある。 ◆ 周囲の無理解や偏見から、自殺を考える人の割合が高い。
医療	◆ 医療機関の受診がためらわれ、十分な治療を受けられない。 ◆ 同性パートナーとの関係を証明することが難しく、病院で面会を断られたり、病状説明を受けられなかったりする。
民間サービス	◆ 携帯電話の家族割、保険の適用など、夫婦や親族を対象としたサービスが多い。 ◆ 顧客情報として、性別、既婚・未婚の申告を依頼される。
公共サービス	◆ 申請書等の性別記載欄に記載しづらい。 ◆ 性的指向や性自認に基づく困難を抱えている人が、相談窓口を安心して利用できない。

《同性愛は治療できるの？》

同性愛は病気ではなく、性的な趣味や好みの問題でもありません。

1993年の世界保健機関（WHO）の宣言を契機として、日本でも同性愛は医学的治療の必要ないものと考えられています。

性のあり方はさまざまです。どれが正しく、どれが間違っているというものではなく、人それぞれに違います。

性の多様性について、正しい知識を持つことが、性的少数者を含めた、誰もが安心して暮らせる社会を実現するための第一歩になります。



イーブン（川越市男女共同参画情報紙）

発行日：令和2年12月

発行：川越市市民部男女共同参画課

〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1

TEL：049-224-5723

FAX：049-224-6705